

2013.10

第107号

# 社協だより

福祉わくや

## 私たちの地域のことを考えよう



第2回・第3回地域福社会長連絡会  
(7月26日、9月27日)

社会福祉協議会の委嘱する地域福社会長が、研修や  
情報交換を行い、資質向上や連携強化を図っています。

### ◆◆◆ 第107号の主な内容 ◆◆◆

- ★会長就任のご挨拶・新役員の紹介 ..... 2
- ☆Pick up社協事業..... 3
- ★平成25年度福祉作文・ポスター・標語コンクール.....4~5
- ☆「わくや」の未来を育てましょう ..... 5
- ★地域ふれあい活動紹介コーナー.....6
- ☆ボランティアセンター通信.....7
- ★ゆうらいふ通信..... 8
- ☆「ゆうらいふ」ってどんなところ?..... 9
- ★お知らせ ..... 10

編集・発行

### ふれあいネットワーク

社会福祉  
法人 涌谷町社会福祉協議会

〒987-0121 宮城県遠田郡涌谷町涌谷字新下町浦192番地  
涌谷町高齢者福祉複合施設「ゆうらいふ」内  
TEL (0229) 43-6661 FAX (0229) 43-6670  
E-mail: shakyo@wakuya-sfk.net  
ホームページ: <http://www.wakuya-sfk.net/>

## 就任のご挨拶



涌谷町社会福祉協議会

会長 小野寺 富雄

氏家会長の退任により、去る7月1日の理事会において会長に選任され、その重責を担うことになりました。微力ではございますが皆様方のご支援とご協力をいただきながら、誠心誠意その任に当たりたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。東日本大震災から間もなく2年7ヶ月が経過しようとしています。

2011年は、命の尊さと家族愛、地域の絆の大切さを私たちの心に刻み、決して忘れることのできない年になりました。あつとき当高齢者福祉複合施設ゆうらいふにおきましても、ボランティア・民生委員の方々をはじめ町民の多くの皆様方から、心温まるご支援をいただき困難な日々を乗り越えることができましたことを職員から聴いておりました、改めて感謝と御礼を申し上げます。

本年6月に念願の多目的ホールが完成しました。今までデイサービスフロアと共用

していた事務所フロアを前の研修室に移し、狭いと感じていたデイサービスフロアを拡張したことによって、定員30人から40人へと福祉サービスを充実することができました。新しい多目的ホールは、ゆうらいふの施設行事・各研修事業・地域福祉事業等幅広く活用しています。

今、地域社会を取り巻く環境は、少子高齢化の時代を迎えて、大きく変貌しつつあります。急速に、ひとり暮らしや夫婦のみの世帯が増加し、地域の中で支え合う機能も薄れがちになりますので、的確な対応が求められています。

だれでも、住み慣れた家庭や地域で人とのつながりを持ちながら、いつまでも暮らし続けたいと思う思いは、多くの人びとの共通した願いではないでしょうか。地域福祉を進める主役は、そこに住み地域を一番知っている住民一人ひとりではないかと思

います。社会福祉協議会といたしましても、平成23年度に地域福祉活動計画を策定し「誰もがその人らしく安心して暮らすことができる地域社会の実現」を基本理念に掲げて、役員が一丸となり鋭意努力いたしております。

終わりに、皆様方のご多幸とご健勝をご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。

## 新役員の紹介

任期満了に伴い、6月27日の評議員会で役員(理事・監事)の選任が行われ、新理事による互選により会長・副会長が選出されました。役員の任期は、平成25年7月1日から平成27年6月30日の2年間です。

理事	
会長	小野寺 富雄
副会長	高橋 俊吾
副会長	今野 武則
理事	安部 清彦
理事	伊藤 雅一
理事	佐々木 良一
理事	高橋 ちい子
理事	小野 秀一
理事	佐々木 とし江
理事	都築 光一
理事	飯岡 洋介
理事	佐々木 敏雄
理事	大友 信一
常務理事	渡部 清志
監事	砂金 清均
監事	遠藤 良治

引き続き、役員一同、地域福祉の推進に努めて参ります。よろしくお願ひ致します。

### 【退任者】(敬称略)

前会長 氏家 昭  
前副会長 末永 純  
理事 坂本 兼也  
理事 三神 強  
理事 久道 晶子  
退任された皆様、長い間お疲れさまでした。

# ●●● Pick up 社協事業 ●●●

< 社会福祉協議会の展開する地域福祉事業等をご紹介します。 >

備えあれば憂いなし!!

## 『災害救援福祉マップ 更新作業』

要援護者や危険箇所を把握し、地図上に標記することで救援者が、災害発生など、いざという時に、いち早く尊い命を守り被害の拡大を防ぐことを目的に、平成12年度から行政区長・民生委員児童委員・地域福祉会長(評議員)の三者により「災害救援福祉マップ」を作成し、毎年更新作業をしています。

今年度も、8月27日と30日に午前午後の計4回にわたり更新作業を行っていただきました。割り当ての日に都合がつかなかった行政区では、他の作業日に、また、4回とも都合がつかなかった行政区では、日を改めて「ゆうらいふ」で作業を行ったり、行政区に持ち帰って作業をしたところもありました。

更新作業に当たられました皆様、大変お疲れ様でした。



子育てサロン

## 『ほっとママ』

産後のお母さん支援として新生児のお母さんを対象にした『ほっとママ』を6月27日に開催しました。子育て相談員を交えての情報交換や町の保健師さんのフンポイントアドバイスなど、参加者は有意義な時間を過ごしました。



次回は、11月28日(木)を予定しています。詳しくは社協までお問い合わせ下さい。

## 2の2区福祉懇談会でHUGをしました!

**HUG**(ハグ)とは、避難所運営ゲームの頭文字をとって名付けられました。英語の抱きしめる(hug)という意味から派生して「避難者をやさしく受け入れるためのゲーム」という思いが込められています。

自主防災等の勉強会にいかがですか?

## 『避難所運営ゲーム(通称:HUG)』

災害は忘れたころにやってくる。避難所運営ゲームを通して福祉の心を学びませんか? 社協では、HUGセットと職員を派遣致します。ご連絡お待ちしております。(TEL 43-6661)





# 平成25年度福祉作文・ポスター・標語コンクール

作文の部

最優秀賞

今年も町内小・中学校児童生徒のみなさんからたくさん作品が寄せられました。みなさんから寄せられた作品はゆうらいいふに展示しています。広報では最優秀作品を紹介いたします。(敬称略)

「これからの高齢社会に望むこと」



涌谷第一小学校六年

藤崎 舜也 (しゅんや)

ぼくの祖母は、今年八十歳になりました。十七年前に祖父が他界してからは、一人で自営業を営んでいます。毎日の家事はもちろんのこと、仕事をしている父や母の代わりにぼくを育ててくれました。日々忙しく働く祖母は、「大変だ」とぐちを言いながらも、毎日とても生き生きと生活しています。

祖母の様に、充実した生活をおくっている高齢者がいる一方で、様々な問題を抱える高齢者もたくさんいます。

近年日本では、人口に占める高齢者の割合が年々増加してきています。平均寿命が延び「長寿大国」になったのです。その結果、抱えることになったのが、高齢者問題です。その

中には、一人暮らしの高齢者の増加や、それに伴う介護の不安、寝たきりや認知症など個々が抱える問題もたくさんあります。調べてみると、それらの問題に対して、国や市町村の自治体などでは、さまざまな対策を考え、実行しているということがわかりました。

例をあげれば、シルバー人材センターなど的高齢者に対する雇用の場を増やしたり、多種多様なサークル活動、または定期的な集いや、誰もが気軽に利用できる介護サービスなどです。高齢者自身が、趣味や仕事を持つことは、老化防止や、安定し充実した生活作りにとっても役立つていることもわかりました。

そして、自分なりに何か、よい対策はないか考えてみました。

一つ目は、高齢者の雇用についての問題です。「老いたる馬は道を忘れず」ということわざがあるように、豊富な知識と経験、そして確かな技術を持ちながら、働きたくても、働けない高齢者がまだまだたくさんいます。シルバー人材センターなどの雇用枠の拡大や定年年齢の引き上げなどで、そういった問題はぜひ分と緩和されるのではないかと思います。

二つ目は、家庭内や地域社会での高齢者の自立、そして役割についてです。文頭にもあげたように、ぼく

の祖母は毎日、生き生きとした生活を送っています。それは家庭内において重要な役割を持っているからです。自分が必要とされているという意識を持ち生活するということは、充実した毎日を送る為にとっても不可欠だと思います。しかし、これらを実現化することは決して容易ではありません。高齢者の家族はもちろん地域社会全体の人々、そして行政の協力と努力が必要です。若年者と高齢者がともに助け合い協力し合っこそ実現できるのではないかと思います。

今、国や地方の自治体は、理想の高齢化社会を目指し、試行錯誤を繰り返し、努力を重ねています。一口に理想と言っても、人によって考え方や意見はさまざまです。でも、ただ一つ言えることがあるとすれば、社会全体が一つの家族の様に、たがいに思いやり、協力し合い、支え合うことが最も大切なのではないかということだと思います。

そして、誰もが高齢者になった時、「ああ、長生きしてよかった。」と思う地域社会を築く柱になるのは、これから大人になるべく達世代の大切な役割だと思っています。

小さなことでもいい。自分達には何ができるのかを考え、これからの高齢化社会を支えていきたいです。

ポスターの部

最優秀賞



小里小学校二年

香川 泰輝 (たいき)



標語の部

最優秀賞



涌谷第一小学校六年

石川 友萌 (ゆも)

『やっつぱり  
手をうらなう  
福祉の心』

入選児童・生徒の紹介 (敬称略)

福祉作文コンクール

◎最優秀賞

「これからの高齢社会に望むこと」

涌谷第一小学校六年

藤崎

舜也

○優秀賞

「高齢者のために」

涌谷中学校三年

本間

彩

○優良賞

「ぴっちゃん为学校」

涌谷第一小学校五年

森

諒太

「思いやりと支え合い」

涌谷中学校三年

浅野

涼風

福祉ポスターコンクール

◎最優秀賞

「みんなの笑顔がみたいな」

小里小学校二年

香川

泰輝

○優秀賞

「気づかい 心づかいを行動に！」

涌谷中学校一年

中澤

英明

福祉標語コンクール

◎最優秀賞

「やさしさで 手をとり合う 福祉の心」

涌谷第一小学校六年

石川

友萌

○優秀賞

「おもいやり ひとへひとへと 助けよう」

涌谷第一小学校四年

佐藤

小花

○優良賞

「あなたの手 思いをつなぐ 福祉の手」

涌谷小学校五年

遠藤

春奈

○審査員特別賞

「助け合い されるもするも うれしいな」

涌谷第一小学校六年

川鍋

里菜

「わくや」の未来を 育てましょう。

社協で行った福祉人材の養成講座や各教育機関からの依頼により実施した職場体験、現場実習の模様など寄稿を交えてご紹介します。

平成25年度 社会福祉援助技術実習

「実習を終えて」

東北福祉大学4年 山根 拓巳

私は、涌谷町社会福祉協議会で7月1日から8月2日までの約1ヶ月間、社会福祉援助技術実習をさせていただきました。

本実習では、涌谷町社会福祉協議会が実際にしている地域サロン活動や各種事業、ボランティア団体の活動などに行わせていただきました。さらに、より

涌谷町社会福祉協議会の実践現場を知るために事務所内に席を置き、地域の方々との日常的に関わりを持つことができました。

以上のような経験を約1ヶ月間通して行うことで、私は多くのものを得ました。まず、地域福祉推進を行う

上で必要なのは、住民の力であるということです。涌谷町には、民生委員児童委員や地域福祉会長など、地域福祉推進を行う上で大きな力となる方々が存在しています。涌谷町社会福祉協議会は、そういった方々を中心に地域福祉推進を図っていました。そして、なに

よりも重要なことは、あくまで住民を主体としており、そのお手伝いを行っているということです。地域住民と涌谷町社会福祉協議会が互いに情報共有を行い、それがネットワーク化されることで地域ニーズの把握・解決につながるのではないかと思います。

この他にも、事務所内に席を置いていただいたことで、地域住民の方々と関わる時間を多く持つことができました。このような経験を学生のうちに行うことができたのはとても貴重な経験であり、今後のスキルアップにもつながると感じました。

今回の実習で学んだことは、これから福祉の現場に出る行く上でとても重要なものであると思います。この経験を忘れることのないように、日々の学習にリンクさせながら、私自身のなかで大きな力へと変えていきたいと考えています。そして、いつか本実習の経験

を生かして地域の方々に貢献できるような社会福祉士へと成長していきたいです。約1ヶ月間ご指導してくださった職員の方々に、そして、いきなり来た実習生の私を温かく見守ってくれた地域の方々に、本当にありがとうございました。



# 地域ふれあい活動紹介コーナー

<地域から提出して頂いた報告書（レポート）等を掲載しています。>

## 2の1区

### ① 『地域福祉社会懇親会』

7月6日

ひとり暮らし高齢者の見守り巡回、地域福祉活動の取組み等について勉強会を開催しました。参加した福祉推進員等からは「今後は一人暮らしの高齢者の声掛けを多くする。」  
「地域の人に活動を積極的に伝えていきたい」などの声が聞かれました。



### 太田区 『交通安全教室』

8月6日

交通指導隊員の方より道路を横断する時の注意等を聞きました。その後、実際のシミュレーション体験等を行いました。



### ② 『敬老会』

9月13日

長寿のお祝いを町の敬老会該当者を対象に開催しました。参加者全員で踊り、民謡、カラオケ等を行ない、また、お祝い弁当を食べ、楽しい時間を過ごしました。



### 下小塚区 『地域福祉ステップアップ会』

6月28日

八雲区地域福祉会長の小野寺氏より地域福祉活動の取り組みについて実践事例を話していただきました。八雲区では区長さんと民生委員さん、地域福祉会長さんの連携が大変密であり、何をするにも連絡を取りあっているとの事、福祉推進員さん同士も仲が良いとの事、そこがとても大事な事だと思えました。  
小野寺地域福祉会長さんに快く引き受けていただき感謝しています。



### 5の2区 『子供ふれあいまつり』

8月18日

バルーンアート、水ヨーヨーつり、スイカ割り大会、くじびき大会と盛り沢山の内容でした。  
多数の子供たちが参加していただき好評を得ました。特にバルーンアートでは子供たちが時間制限をオーバーしても作成に夢中になり司会者泣かせでした。バルーンアートのボランティアの皆さんのご協力に感謝しています。



## 上郡1区

### 『生活習慣病予防教室』

7月7日

講話「今から行う！ 高血圧対策」や簡単体操、減塩料理の試食会などを行いました。  
毎回思う事ですが、今回は特に参加してほしい家族の健康を守る（調理をする主婦の）年代の参加が少なかったことが残念でした。





# ぼらんていあさんが通る

## ボランティア活動 大きな手 小さな手

### 子育てサポーター養成講座 (7月16日, 7月30日, 8月6日)

子育て支援に関心のある方を対象に「子育てサポーター養成講座」を開講しました。のびすく仙台館長の伊藤任佐子氏をはじめ、遠田消防署、涌谷町健康づくり班保健師を講師に迎え、全3回の講義を通して受講生は子育て支援についての理解と認識を深めました。

受講した皆さんには、学んだことを活かし地域での子育てに実践していただくよう、ボランティアセンターとして働きかけをしていきたいと思ひます。



## どんな活動してるのかな!? 教えて! ボランティアさん

今回は、ボランティアグループの『夢ふうせん』の代表 渡邊彰子さんにインタビューしました。

Q1. バルーンアートボランティアをはじめたきっかけはなんですか?

もともとやりたいなと思っていたところに、社協からバルーンアート研修会の誘いがあり、とびつきました。



Q2. いつから活動しているのですか?

2013年7月5日にボランティアサークルとして立ち上げたばかりのホヤホヤです。

Q4. グループ名「夢ふうせん」の由来は何ですか?

バルーン=風船、風船と言えはなにが入っているか、やっぱり“夢”でしょう!(笑) 夢を形にして届けることができればいいなと考えてます。



Q3. どんな場面で活躍しているのですか?

まだサークルを立ち上げたばかりなので多くはありませんが、8月には5の2区子どもふれあいまつりに。10月にはJAまつりに参加させていただきます。

Q5. 会員は何名ですか?

12名です。これから仲間が増えていくことを期待しています。

Q6. 活動していてうれしかったこと・良かったことを教えてください。

素敵な仲間にもぐり合えたことです。これからどんどん良いこと、楽しいことが増えていくと思うとワクワクです。

ありがとうございました。これからも素晴らしいバルーンアートでたくさんの方に“夢”を届けてくださいね。

ボランティア活動に関心のある方は、下記までお問い合わせ願ひます。  
涌谷町社会福祉協議会・ボランティアセンター (TEL 4 3-6 6 6 1)

～わたしたちは、あなた「You:ゆう(利用者:家族:地域住民)」と共に、  
あなたの生活「Life:らいふ(生活:人生:生涯)」を大切にします～

**ゆうらいふ**  
社会福祉法人 蒲谷町社会福祉協議会

**通 信**

特別養護老人ホーム&グループホーム

## 「ゆうらいふ敬老会！」



9月15日、ゆうらいふ敬老会を開催しました。

当日は、数多くのご家族の参加もあり盛大に執り行う事が出来ました。今年のゆうらいふ最高齢者は99歳。最高齢と白寿をお祝いし、ゆうらいふから長寿認定証と記念品を贈呈しました。

式典終了後は、日本民謡香湧会の方々によって民謡や舞踊ショーが行われました。入居者が民謡と一緒に口ずさんだり、手拍子をする等とても喜ばれていました。一時間という短い間でしたが、入居者や家族、職員も一緒に楽しい時間を過ごす事が出来ました。



## デイサービス 「夏祭りとお祭り敬老会」

8月24日、夏祭りを行いました。

いろいろな模擬店(おもちゃすくい、わたがし他)も並び、お祭りの雰囲気がとても伝わる楽しい行事になりました。

また、9月13日から9月18日までの6日間に亘り、敬老会を開催しました。スタッフの踊りやフラダンスボランティアさんの踊り(土曜日限定)を見て楽しまれておりました。「来年も元気にこねげ!」と大好評でした。



張ろうと大変励みになっていたようです。ご家族とともに、職員・入居者、皆で祝福しました。

いつも、たくさんの方の心を癒し、励まして下さる小松まつい様に、感謝の気持ちでいっぱいです。ますますの御長寿を願っております。



「ここに居る皆さんのおかげです。本当にありがとうございます」とご家族よりお話がありました。一緒に生活されている入居者も大変喜んでおり、自分達も頑

グループホームあさひに入居しております小松まつい様が、来年1月7日に100歳の誕生日を迎えられます。9月17日、宮城県北部保健福祉事務所の菊田副所長がゆうらいふを訪れ、内閣総理大臣からの褒状と記念品(銀杯)を、また宮城県知事からの感謝状を贈呈していただきました。

グループホーム  
「いつまでも元気です」



# 『ゆうらいふ』ってどんなところ？

## ゆうらいふ訪問入浴サービス 指定訪問入浴介護・介護予防入浴介護[事業所番号0473100337]

〔ゆう〕 〔らいふ〕  
『私たちは、あなたの入浴ライフを大切にします!!』

ご自宅のお風呂での入浴が困難な方のお宅へ、入浴設備付きの専用車両で訪問させて頂き、お部屋で安全で安心な入浴を行っています。

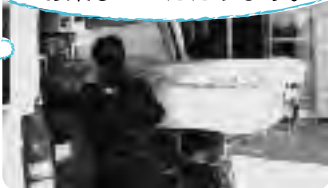


スタッフ3人(介護2人、看護1人)が自宅へお伺いします。

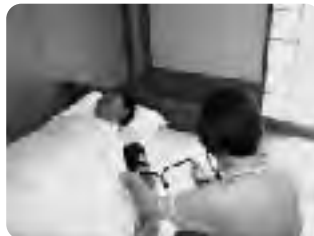
営業日：月曜日から金曜日（祝日も営業）  
営業時間：8：45～17：00  
稼働台数：2台（1台1日6件）合計12件

### 入浴サービスの流れ

ゆうらいふでは、天平の湯を使用し、ご自宅で温泉入浴をお楽しみいただけます。



ご自宅へ到着。



看護スタッフが、入浴前に体調を確認します。



お部屋に浴槽を設置します。

『気持ち良かった』と感じていただけるように、個々人の心身の状態に合わせたケアをしています。



片付けて、入浴後の体調を確認します。



利用者が入浴している間にシーツ交換等を行います。



スタッフが入浴の介助をします。(洗髪、洗体)

ゆうらいふでは、利用者一人ひとりの状況に合わせた入浴方法をご提案いたします。その日の健康状態に応じて、足浴・洗髪のみ・清拭などの方法で清潔の保持を行います。

お風呂に入ると心身ともに開放されるためか、スタッフとの会話を通じて、忘れていた言葉を思い出したり、表情が豊かになったり…。ゆうらいふ訪問入浴サービスは、いつも笑顔で溢るサービス提供を心掛けています。

訪問入浴サービスを利用希望の方は、担当ケアマネージャーへ相談下さい。

<問い合わせ> 涌谷町涌谷字新下町浦192 TEL0229-43-6662  
ゆうらいふ訪問入浴サービス 担当/千葉・鈴木

### ≪温泉入浴車の歴史と泉質と効能について≫

ゆうらいふ訪問入浴サービスの温泉入浴は平成10年10月10日、わくや天平の湯のオープンと同じにスタートしました。当時全国的にも珍しく、宮城県内第1号の温泉水対応訪問入浴車の誕生でした。

#### ◆温泉の泉質について

泉質：ナトリウム塩化物泉 低張アルカリ性温泉

効能：神経痛 筋肉痛 関節痛 五十肩 運動麻痺  
関節のこわばり 打ち身 くじき 冷え症  
慢性消化器病 痒症 病後回復 健康増進  
切り傷 やけど 慢性皮膚病 等

入浴後しばらくは体が暖かいとの声を多く頂いております。

# 平成25年度「社協会費」のご協力 ありがとうございました

本年度も涌谷町社会福祉協議会の趣旨にご賛同いただき、涌谷町の豊かな地域福祉づくりの為、皆様から年会費の協力を頂きました。

会員皆様のご支援とご協力に心から御礼と感謝を申し上げます。

また、各地区の地域福祉会長・福祉推進員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

一般会費 5,323,500円(4,619件)  
※一般会費には、減額、免除世帯も含まれます。

賛助会費 330,000円(110件)

特別会費 505,000円(62件101口)

**総額 6,158,500円**

(平成25年9月30日現在)

## 心温まる善意ありがとうございました。

(平成25年6月6日～平成25年9月30日まで)

### 寄付金

- 上郡1区 杉崎啓志 様.....5,000円
- 大崎市 (株)大崎タイムス社 福祉部 様...100,000円

## ●生活相談所開設しています●

日常生活で心配事、困りごとはありませんか？  
お気軽に相談員にご相談ください。(守秘義務厳守！)

- ★開催日時：毎月第4水曜日 午後1時から3時
- ★相談場所：高齢者福祉複合施設ゆうらいふ「相談室」

※詳しくは、涌谷町社会福祉協議会 (TEL43-6661)  
までお問い合わせ下さい。

## 福祉推進員の紹介

このたび、新たに次の方が福祉推進員となりました。  
任期は、平成25年6月1日から平成27年5月31日まで  
となります。よろしくお祈いします。

【11区】澤田 栄子 様

## お詫びと訂正

前号(106号)8頁で福祉推進員の紹介を掲載した際に  
御名前につきまして誤りがありました。  
下記の通り訂正してお詫び申し上げます。

(御名前の訂正)

- ◆福祉推進員(敬称略)
- 【城山区】粟野益美 【上郡1区】栃木幸美
- 【太田区】福田壽美

## 共同募金運動展開中

(期間10月1日～12月31日)

赤い羽根共同募金へのご協力  
ありがとうございました。



「10月1日の街頭募金の様子」

## 歳末たすけあい募金のご協力について

12月から、「歳末たすけあい募金運動」  
が実施されます。本運動は、新たな年を迎える  
時期に支援を必要とする方々が地域で安心して暮らす  
ことができるよう展開するものです。

皆様のご家庭に戸別募金の協力にお伺い  
しますので、ご理解ご協力をお願いします。

## 編集後記

ゆうらいふ(涌谷町高齢者福祉複  
合施設)は平成15年4月に開設以来  
10周年を迎え、今年6月に多目的ホ  
ールも完成し、施設も充実しており  
ます。どうぞ一度「ゆうらいふ」を  
覗いて見ませんか。

広報委員も新たに編成され、向こ  
う2年間、地域の福祉活動を多いに  
取り入れ、皆様から愛される「社協  
だより」をお届けしたいと思いま  
すので、今後ともよろしくお祈い申し  
上げます。

広報委員